



TOKYO
ROPPONGI
ROTARY CLUB



Weekly Report

Thank You, Rotary

東京六本木ロータリークラブ会長
平成27年7月6日発行 第442号
2015・2016年度 No.1

本日のプログラム

平成27年7月6日
新年度会長・副会長
各委員長挨拶
場所 グランドハイアット東京

クラブからのお知らせ

山本会長挨拶

さて、私の今年度のテーマは“Thank You, Rotary”です。

会長としての役割は皆さんに期待された10周年記念例会を無事に開催することでありました。おかげさまで平松和也実行委員長とともに無事に終えることができ、またミクロネシア大学への支援事業もなんとか基盤を確立することができました。

過去の歴代会長と幹事のみなさんが築かれた10年間の基礎固めを土台にして、一歩だけ外に向かって歩き出しました。初めての補助金申請による奉仕活動の実施、また自クラブだけではなし得ない規模の事業もはじめ、奉仕の輪が大きくなることを皆さんとともに体験しました。

ロータリークラブの仲間とのフェロシップを緊密にすることで高い次元の奉仕活動を実現できたことを思い、みなさんにこう申し上げます。

“Thank You, Rotary”

次年度会長は深田宏さんです。深田さんの言葉ですが「日本はこれから国内総生産も人口も順位を下げるのだから、規模の大きさではなく、規律の正しいこと、治安も良く、総じて真面目であるから、世界で尊敬される国として輝き、国民も誇りをもって生きて行くべき」と、大いなる勇気を頂きました。

来週からの一年間よろしくお願いいたします。

最後に、浅田会長年度の幹事役を終えていたにも関わらず、我慢して不出来な会長を必死に支えてくれた幹事の齋藤明子さんにはとても感謝しています。私の不行き届きな部分を補うだけではなく、事前にアドバイスしていただき、私も何とか任期をまっとうすることができました。ありがとう。



(記：山本会長)

2014-2015年度末夜間例会報告

今年度最後の夜間例会が42人の参加者により開催されました。例会終了後の懇親会では、佐藤特別代表から10周年を迎えた私達に「素晴らしいクラブになりました。」とお褒めの言葉と、これからも生涯特別代表として見守って下さるとの、嬉しい御挨拶をいただきました。



涼しげなガラスの花器に飾られた花を眺めながら、ハイアットの美味しいお食事をいただき、一年間の思い出話は尽きることがありませんでした。懇親会第二部では、「シルク・ドゥ・ソレイユ」の登録パフォーマー、フレアバーテンダー宇敷勝巳さんのシェーカーさばきに驚かされた後、希望者は実際にカクテルのイメージや好きな色を伝え、宇敷さんに目の前でカクテルを作っていただきました。作っていただいたカクテルの話で、会はまた盛り上がりを見せました。



第三部では、六本木ロータリー10周年の歩みを映像で見てから、いよいよ新旧交代式です。今年度会長のご挨拶の後、次年度会長・幹事の紹介、今年度から次年度会長幹事への花束贈呈が行われました。そして次年度の理事・役員が紹介され、またここから新たな年度の始まりです。



次の年度はどんなロータリーとなるのでしょうか。深田会長、日下部幹事、どうぞ宜しくお願いいたします。



(記：小笠親睦活動委員長)

浅田ガバナー補佐へ

今年度は私たちのクラブより浅田豊久さんがガバナー補佐として地区に出向され、山の手東グループの団結にご尽力とご指導いただきました。我々クラブの会長、幹事は毎月一度のグループ協議会で各クラブと地区との間の連絡・報告・相談を重ねました。昨年の夏の11クラブ合同のIM 即ちインターシティーミーティングは浅田ガバナー補佐以下のチーム六本木の皆さんと当クラブの親睦活動委員会との協同で盛大にそして有意義な会を成功させることができました。

グループ幹事の安井悦子さん、そして渡辺美智子さん、片岡雅敦さん、高柳公康さんのチーム六本木への感謝を込めながら浅田ガバナー補佐に花束を贈呈いたします。



(記：山本会長)

卓話 『少子高齢化時代のアンチエイジングプロダクト』

平成27年6月22日

株式会社ウォーターデザイン代表取締役/現在成蹊大学教授・もと慶應義塾大学教授
坂井 直樹様

僕の経歴のスタートは京都芸大で、ドロップアウトしてアメリカに行き、タトゥーTシャツを製造するファクトリーを作りました。その原資は後に西武デパートの社長になった僕の友人が僕の作品のTシャツを1枚1万円で200枚買ってくれてできたものです。48年前、今の2000万円ぐらいの金が19歳の学生にポンと飛び込んだ。それを持ってサンフランシスコへ行ったわけです。

僕はデザインで世の中を変えられると思っていたのですが、実際にそれを実現したのは日産のBe-1が初めてです。そのあとカメラをやり、パオ、フィガロ、ラシーンと自分の作った車を出せたのはラッキーでした。そして2001年、知人と一緒に今でいうビッグデータの分析を行う会社を作りました。ですからデザインの稼業ですけど、いろんなことをやっています。そのあとauの外部デザインディレクター、慶応の湘南藤沢キャンパス、京都造形、慶応大学と経て、今は成蹊大学の教授の3年目ですが、今年で辞めて自分の仕事がしたいと思っています。

デザインって何かと聞かれると僕も答えにくいです。デザインにはまだ100年しか歴史がないので、何千年という歴史を持つ文学や哲学や数学と違って、まだアカデミックって呼べないのかも知れません。簡単にデザインの歴史を話すと、まずきっかけは産業革命です。機械で工業化して世界中どこでもいくつでも同じものを作れます。そして機械化のためにはデザインという技術が必要でした。1919年、ドイツにデザインの学校ができました。これがデザインの始まりだと僕は思いますが、なぜかナチスによって迫害され、その主要メンバーが米国に亡命し、彼らはデザインは経営資源だと考えました。これは僕の答えでもあります。ヨーロッパに残ったメンバーはデザインはブランドの価値創造と継続のために重要だと考えました。ルイ・ヴィトンやプラダやエルメスを何百年も維持するために必要だというわけです。

アンチエイジングプロダクトについていうと、僕は杖のイノベーションを考えました。誰もが歳をとっても若い人と同じように行動したいと思う筈ですね。そのハンディをデジタルテクノロジーでカバーできるんじゃないか。もう一つは携帯電話を耳の悪い方が外を歩く際の補助具として使えるようにしようというもの。次は車椅子で、若者が嫉妬するようなカッコいいものを作ってやろうと思っています。

僕らの世代、心の中では歳をとったという考えはないです。僕は、学校でも会社でも若い人しかいないので、鏡さえ見なければ20代のつもりでいられます。確かに肉体的な問題はありますが、それをデザインで解決すれば若者と一緒に活動できるんじゃないか。老人とハンディキャップを持つ人を合わせると市場としては非常に規模が大きい。今までイノベーションのなかった世界を新しいデジタルテクノロジーとIT技術で突破してやろうと頑張っています。

ありがとうございました。



佐藤 晃一さん

年度末夜間例会遂に来ましたね。山本会長ご苦労様でした。10周年も無事終わり、役員の皆様も重荷が降りましたね。

浅田 豊久さん

一年間のご支援ご声援に感謝申し上げます。ガバナー補佐浅田豊久。

門田 真乍子さん

ロータリーと共に成長させていただいた部分たくさんあります。ニコニコボックスの皆様今年一年、ありがとうございました。

柏原 玲子さん

山本会長、齋藤幹事、一年間本当にお疲れ様でした。有難うございました。

片岡 雅敦さん

会長・幹事・役員の皆様一年間ありがとうございました。お疲れ様でした！！

今野 ひろ子さん

入会以来、環境によって自分が変化している事を意識するようになりました。すばらしい会の運営陣に心より感謝申し上げます。

小篠 ゆまさん

山本年度最後の例会。本年は周年記念もあり忘れられない一年となりました。皆様一年間どうも有難うございました！

マークエステル・スキャルシャフィキさん

浅田様お世話になり、有難うございました。

森 佳子さん

山本会長、齋藤幹事さん一年間大変お疲れ様でした。お世話になり、有難うございました。

小笠 裕子さん

今年度一年間ありがとうございました。皆様に感謝。

齋藤 明子さん

皆様一年間お世話になりました。ありがとうございました。

鈴木 聡子さん

初めて夜間例会に参加させていただきます。山本会長、齋藤幹事、本当にお疲れ様でした。

杉本 潤さん

山本会長、齋藤幹事、一年間、有難うございました。

渡辺 美智子さん

山本会長、齋藤幹事お疲れ様でした。一年間ありがとうございました。

山口 富久さん

10周年年度の終了、皆様お疲れ様でした。

山本 良樹さん

今年度、皆様に支えられて終えることができました。THANKYOU,ROTARY.

山中 祥弘さん

楽しいロータリーの1年でした。ありがとうございます。

6月29日 合計 84,000円 累計 1,925,917円

6月29日の例会出席率（暫定）

- 会員の例会出席数（出席率） 35名（76%）
- ゲスト・ビジターの参加者数 4名

※メーキャップを含めていない暫定の人数です。

次回のプログラム

平成27年7月13日

卓話 『基本に返ろう～Back to Basics～』

2015-16年度山の手東グループ ガバナー補佐 加藤 書久様

場所 グランドハイアット東京